

授業科目名	中等教育論	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目）					
サブタイトル	中等教育システムの概念を比較検討する	担当者	丸橋 唯郎			
講義概要	<p>【概要】 一般に中等教育は、かつては対象を中産階級以上の子女に限定したエリート教育を意味したが、今日では初等教育と高等教育の間にある学校教育の段階をさす。本講義では、こうした歴史的背景をふまえながら西欧教育(思想)史を概観し、その上で諸国に現出する中等教育システムの概念を比較検討することで、その意味内容を明らかにする。</p> <p>【到達目標】 教育思想に立脚した議論を構成、展開する能力を身につける。教員採用試験突破の知識を獲得する。</p>					
履修条件	教育原理、教育心理学、教職論の単位取得者で、3年次以降の者。専門的な授業を予定しているため、<教育>に強い関心を持ち、最低限の英語力のある者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】 担当者が用意するレジュメと資料を使う。</p> <p>【参考書】</p>					
授業回数	内容					
1	古代・中世の教育					
2	ルネサンスと教育					
3	宗教改革と教育					
4	近代の教育					
5	市民・産業革命と教育					
6	近代公教育制度の確立と中等教育					
7	新教育運動と中等教育					
8	中等教育の変革と展開					
9	世界大戦間の中等教育					
10	第二次大戦後の中等教育					
11	単線系・複線系学校教育システム					
12	リセ・コレージュ・ギムナジウム・コンプリヘンシブスクール					
13	西欧の中等教育システムと日本の中等教育システム					
14	異文化間の中等教育					
15	これからの中等教育					
評価方法	出席、小テスト、課題レポートで評価する。					
評価基準	① 世界の歴史の大きな流れが説明できる ② そのなかで教育が果たした役割がわかる ③ ある特定の時代における社会と教育の関係が説明できる、 の要件の中で、すべてが満たされればAかB、以下、不足に応じてC、D、E、とする。					
その他	希望に応じて問題演習も行う予定である。					